

令和5年度 決算報告・財政状況のお知らせ まちのお財布事情

〈問合先〉財務課 財務グループ (☎77-6530)

令和5年度 まちの主な事業

新型コロナウイルス感染症対策	2億1,600万円
新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金事業(※)	1億6,600万円
新型コロナウイルスワクチンの 接種	5,000万円
※町がコロナ対策のため必要な事業を実施できるよう、 令和2年度に創設された国からの交付金です。交付金 を活用した事業の詳細は、ホームページで公開してい ます。	

物価高騰対策	2億2,900万円
(住民税非課税世帯などの方々に対する各種 交付金や物価高騰対策に係る支援金)	

美幌町制施行100周年記念事業

※事業を抜粋しています。

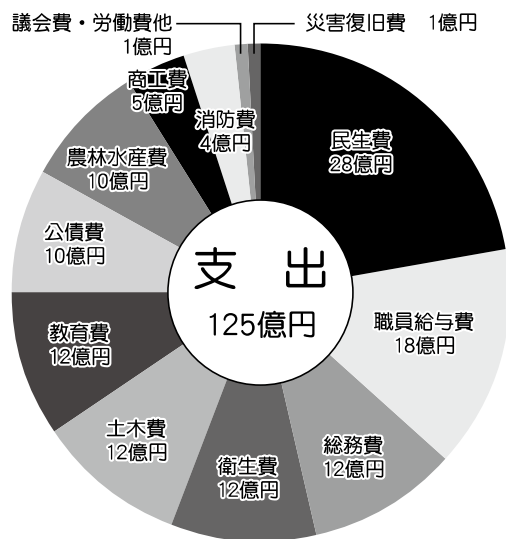
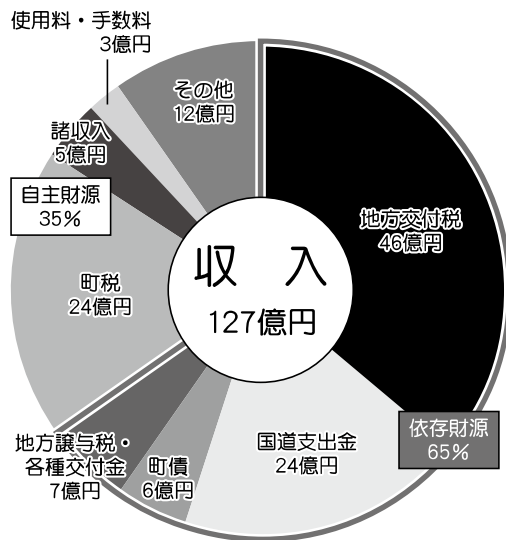
美幌町制施行100周年記念式典	342万円
アーティスト公演	260万円
美幌町PR動画の作成	191万円
資料で見る美幌町の100年 (図書館展示会)	85万円

農業生産基盤や集落環境の整備	3億7,169万円
道路の維持管理、整備	2億9,079万円
道路の除排雪	1億8,656万円
旧ゆうあいセンター解体工事	9,446万円
子ども医療費の助成	4,259万円
次期埋立処分場の整備(実施設計)	3,697万円
美幌峠レストハウス「展望休憩室」 の整備	614万円



美幌峠レストハウス「展望休憩室」の内観

一般会計の決算



令和5年度一般会計の支出総額は、令和4年度と比較し、主に総務費の庁舎改築等事業(駐車場分)、高度無線環境整備推進事業(光ファイバ)等の支払完了により、約4億円の減額となりました。収入は、地方交付税など国や道から交付されるお金である依存財源が全体の65%(83億円)で、まちで自主的に収入できる自主財源を大きく上回る状況であり、国の予算に影響を受けやすくなっています。

特別会計・公営企業会計の決算

特別会計は特定の目的のために独立して経理する会計であり、公営企業会計は民間企業と同じように利用料金などの収益で運営する会計です。

特別会計		収入額	支出額	基金残高	借金残高
国民健康保険特別会計		24.4億円	24.2億円	1.5億円	－
後期高齢者医療特別会計		3.5億円	3.5億円	－	－
介護保険特別会計		20.3億円	20.3億円	1.7億円	－

公営企業会計		収入額	支出額	収 支	借金残高
水道事業会計	収益的収支	5.2億円	4.7億円	0.5億円	25.9億円
	資本的収支	4.9億円	7.5億円	▲2.6億円	
公共下水道事業会計	収益的収支	7.9億円	7.7億円	0.2億円	28.9億円
	資本的収支	4.1億円	6.2億円	▲2.1億円	
個別排水処理事業会計	収益的収支	0.8億円	0.7億円	0.1億円	4.8億円
	資本的収支	0.3億円	0.6億円	▲0.3億円	
病院事業会計	収益的収支	19.9億円	20.2億円	▲0.3億円	9.9億円
	資本的収支	2.4億円	3.0億円	▲0.6億円	

※病院事業会計の収益的収支（入院及び外来診療収入や維持管理費などの営業に伴う収支）のマイナス分は、現金の支出を伴わない支出（減価償却費など）が含まれていることによるものです。

※資本的収支（建設工事や機器の整備などに伴う収支）のマイナス分は、内部の留保資金などで補填しています。

令和5年度決算に基づく財政指標

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、まちの財政が健全であるかを判定する財政指標を算定した結果、いずれも基準を下回りました。まちの財政は概ね健全な状態にありますが、引き続き将来にわたって持続可能な財政運営に努めます。

指 標		内 容	美幌町の状況	早期健全化基準 (経営健全化基準) ※下回るほど健全
健全化判断比率	①実質赤字比率	一般会計の赤字の比率	－	14.02%
	②連結実質赤字比率	全会計の赤字の比率	－	19.02%
	③実質公債費比率	年間の借金返済額の比率	7.2%	25.0%
	④将来負担比率	将来負担する見込みの負債の比率	－	350.0%
	⑤資金不足比率	料金収入等の規模に対する資金不足額の比率	－	20.0%

（①・②・④については黒字のため数値がありません。また、⑤についても資金不足がないため数値はありません。）
※早期健全化基準などの一定の基準を超えると、財政健全化のための計画の策定が義務づけられたり、まちの事業実施のための借金の借入額が制限され、町民負担が増える恐れがあります。

令和5年度の決算にあたり

本町の財政状況は、「第3次美幌町財政運営計画」に基づき、財政の健全化に向けた取り組みを強化してきた結果、人件費及び委託料の増額など物件費の上昇に伴う経常収支比率の増加があったものの、各種指標や町債残高、基金残高において目標とする数値を達成し、本町の財政状況は概ね健全な状態にあると受け止めています。

しかし、今後は、老朽化や耐震不足の公共施設整備に伴う、町債残高の増加や基金残高の減少が見込まれています。また、人口減少による税収や地方交付税の落ち込み、超高齢社会の進展を背景とした社会保障関連経費の増加、さらには、エネルギー価格上昇及び物価高騰による諸経費の増加などにより、まちの財政は、今後ますます厳しい状況になっていくことが予想されます。

今後も「第3次美幌町財政運営計画」やその他各種計画に沿って、引き続き持続可能な財政基盤の確立に向けて、自主財源の確保や徹底した経費節減による行政のスリム化を図り、財政の健全化と住民福祉の向上に努めてまいります。

■財政状況の詳細は、町ホームページでも公表しています。